

# 自動認識システム大賞「入選」

テーマ：太陽電池モジュール補助金申請

技術分野：バーコード  
申請会社：株式会社サトー  
ユーザー名：長州産業株式会社 本社工場

## システムの概要

太陽光発電システム導入にあたり、導入者(個人・法人)が補助金交付をJ-PEC(太陽光発電普及センター)に申請する際、従来は手書き対応のため、製造番号等の誤記・転記ミスが生じていた。その改善とユーザー様で『定格銘板ラベル』の発行を事務所内にて行い、生産ラインへ持ち込んでいたが、その手間を省力すべく定格銘板ラベル発行のインライン化を提案。タイムリーかつフレキシブルなラベル発行の実現と同時に、バーコードをキーにし、生産システムの製品マスタと紐付けて、該当製品の各ラベルを自動発行するシステムを構築。情報と製品とを一致させる事で、出荷時そして出荷後の管理に大きなメリットをもたらす事が出来た。

## システムの特徴

### ラインでのタイムリーなラベル発行が可能

スキャナで製品に貼付された『製造番号バーコード』を読み取り、そのバーコードをキーに即時に『定格銘板ラベル』を自動発行。またモジュールテスター(太陽光電池の検査機)を通過後、梱包時に再度スキャナで読取を行い、『外装兼補助金申請用ラベル』を発行。今まで事務所にて一括発行を行い、ラインへ持っていく形で対応していたが、大きな改善を実現。

### 3層ラベルの採用で、外装ラベル 補助金申請用に使用出来る

製造番号・バーコードの印字を行っている3層コート製のラベルを採用。貼付後は、外装ラベルとして出荷管理などで使用し、ユーザー様への設置時には工事・施工業者がラベルの1層目を剥がし、太陽光発電補助金申請用として、申請用紙の貼付を行い、今まで手書きで誤記・転記間違いが多発していた問題点を改善。

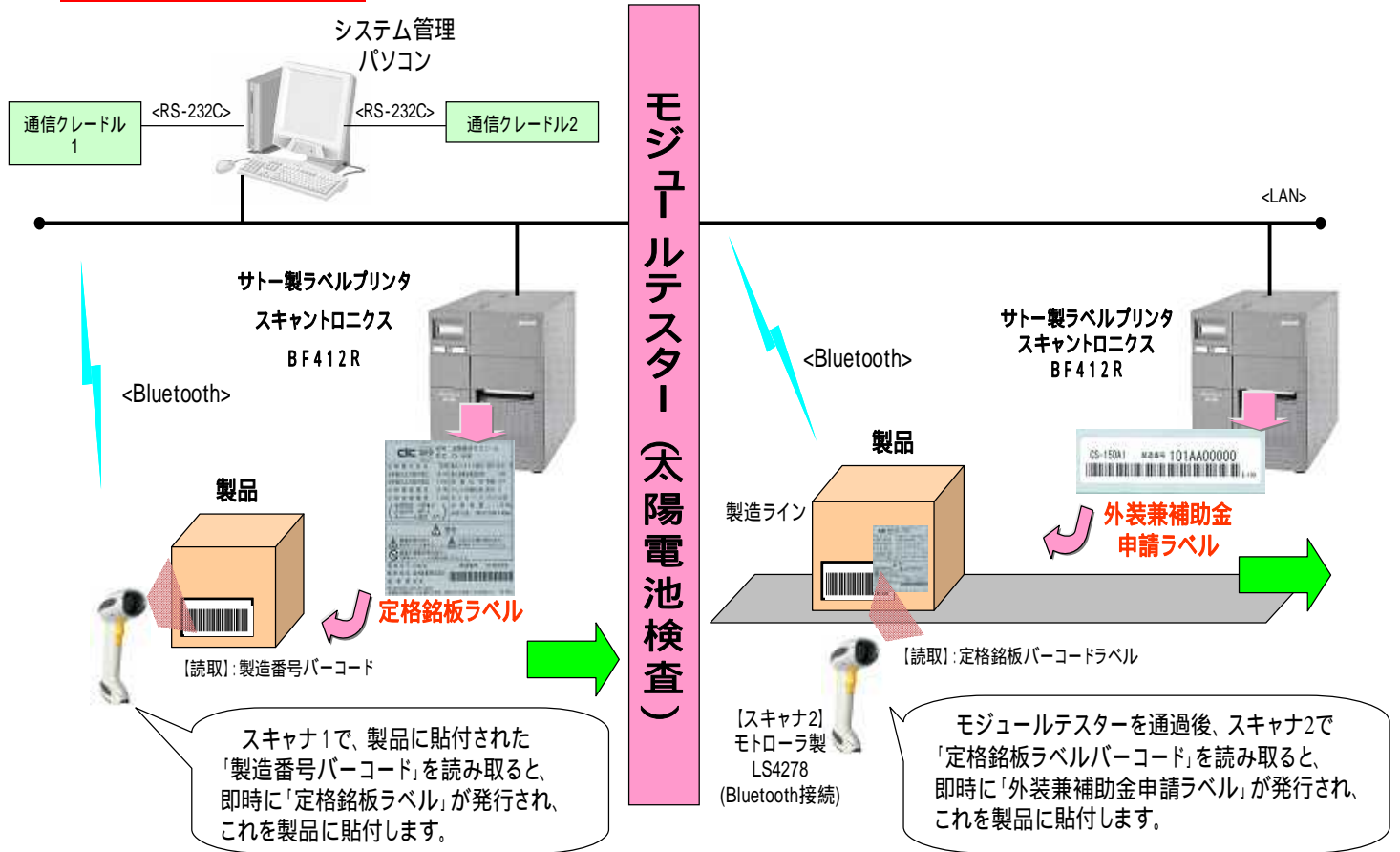
### ラベルデザインソフトで無駄なくフレキシブルな対応が可能

全面無地箇所への印字(ロゴマーク・グラフィックも含む)により、表記内容に変更があった際も、版変更や在庫等を意識する事なく、ソフト内での変更のみで無駄なく、フレキシブルな対応が可能。

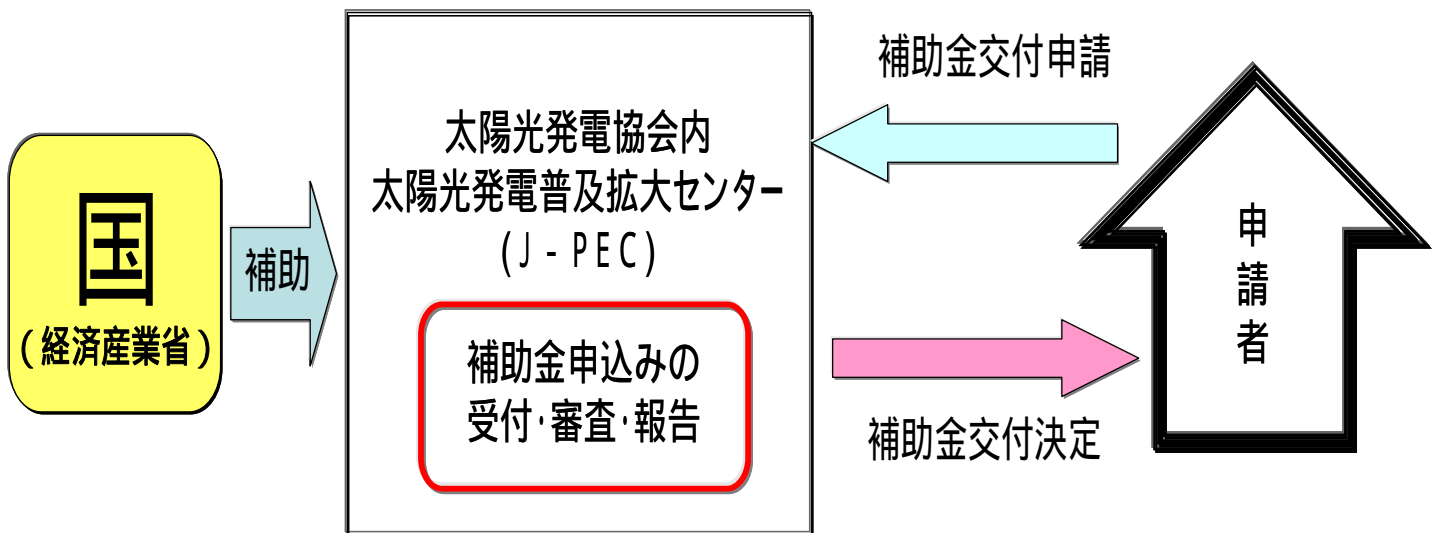
### バーコードをキーにし、スキャナでの読取により製品情報の管理円滑化を実現

ライン投入前に貼られる『製品番号バーコードラベル』のバーコードがキーとなり、定格銘板・補助金申請用ラベルそれぞれの発行時に、スキャナでバーコードを読取、製品(物)と情報の一致が出来、生産数把握や出荷時のデータなど、管理面での効率がアップし、多岐に渡る展開が可能となった。

## システム概要図



## フロー概略図



## ユーザーの概要

商号：長州産業株式会社

設立：1980年(昭和55年) 10月

資本金：4億円

代表者：取締役社長 岡本 要

従業員数：540名

事業内容：

- ・太陽電池モジュール製造
- ・住宅用・公共産業用太陽光発電システム販売
- ・ソーラーシステム・家庭用給湯機器の製造・販売
- ・半導体製造装置・液晶パネル製造装置・メカトロ機器の設計・加工・組立・据付メンテナンスまでの一貫業務

本社所在地：山口県山陽小野田市新山野井3740 TEL:0836-71-1033

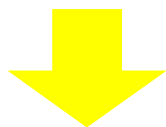
## まとめ

導入後のメリット

事務所での集中発行が無くなり、ラインでのタイムリーな発行が可能(製品と情報との一致を実現)

製品毎のラベル個別管理が無くなり手間削減

補助金申請用紙への転記・誤記の防止を実現



本システム並びに、ラベル発行を通じメーカーと一般消費者の  
相互利益に貢献出来るシステム